

## 月報だより



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月号発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。e-mail で gpjimu@tenmon.or.jp 宛、必ず Fax: 0422-31-5487 へも原稿をお送り下さい。



## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、
2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、
3. 専門分野、
4. 職務内容・担当科目、
5. (1) 着任時期、(2) 任期、
6. 応募資格、
7. 提出書類、
8. 応募締切・受付期間、
9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、
10. 応募上の注意、
11. その他（待遇など）

### 京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室教官

1. 助教授 1 名
2. 京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室
3. 天体物理学
5. 決定後なるべく早い時期
7. 履歴書、研究経歴および論文リスト、主要論文別刷、研究計画書
8. 平成 10 年 7 月 9 日(木) 必着
9. (1) 〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室  
主任 大谷 浩 Tel: 075-753-3894
10. 封筒に「応募書類」と明記すること。

### 理化学研究所計算科学研究室研究員公募

1. 研究員 1 名
2. 理化学研究所、計算科学研究室
3. 計算科学、計算化学、物理学
4. 計算科学研究室においては超高速（～100Tflops）の分子動力学シミュレーション専用計算機の開発を進めている。今回の公募で採用する研究員はこの専用計算機の開発の中心となって働いてもらうことになる。しがって計算機のハードウェア、ソフトウェア開発と大規模なシミュレーションによる研究に強力なリーダーシップをとれる方を望んでいる。
5. (1) 1998 年 10 月 1 日以降所定の日、(2) 理化学研究

所、定年まで

6. 博士の学位を有するか、採用までに取得予定。1998 年 8 月 3 日の時点で 35 才以下であること。
7. ○履歴書、○業績リスト、○推薦書 2 通、○主要論文別刷、○着任後の研究計画案と抱負（2000 字程度）
8. 1998 年 7 月 24 日(金) 必着
9. (1) 〒 351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1  
理化学研究所計算科学研究室  
戎崎俊一  
(2) Tel: 048-467-9414 Fax: 048-467-4078  
e-mail ebisu@postman.riken.go.jp
10. 封筒に「計算科学研究室、研究室研究員募集」と朱書し、書留で送付のこと

### 宇宙科学研究所教官公募

1. 助手 2 名
2. (1) 次世代探査機研究センター  
(2) 神奈川相模原市由野台 3-1-1
3. (1) 電波観測に関連する分野（1 名） 宇宙科学研究所のスペース VLBI 衛星「はるか」による観測と運用にたずさわると同時に、同センターの教官と協力して将来の探査に必要な観測技術の研究を行う。差し当たりは衛星の機能をよく理解し、「はるか」による観測の作業にあたることを主な職務とする。  
(2) 赤外線観測に関連する分野（1 名） 飛翔体を使った赤外線、サブミリ波検出器の先端的観測技術の研究を行う。当面は現在進行中の赤外線天文衛星 ASTRO-F の開発を主な職務とする。大学共同利用機関としての本研究の職務を理解し、共同利用計画の実施に積極的に協力していただける方を希望する。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 論文リストと主要論文の別刷り、(4) 研究計画書、(5) 他薦の場合は推薦書 2 通、自薦の場合は本人について意見を述べるのできる人 2 名の氏名と連絡先
8. 平成 10 年 7 月 31 日必着
9. (1) 〒 229-8510 相模原市由野台 3-1-1  
宇宙科学研究所庶務課人事係  
(2) 宇宙科学研究所  
次世代探査機研究センター長 中谷一郎  
ダイヤルイン：0427-59-8303  
E-mail: nakatani@nnl.isas.ac.jp
10. 封筒の表に「助手応募書類在中」（……分野）と朱書し、郵送の場合は書留とする。

## 研究助成

### (財)科学技術融合振興財団助成金応募のご案内

財団法人科学技術融合振興財団の、平成10年度助成金応募要領が決まりましたのでお知らせいたします。

これは、科学技術の融合等に関する研究に対して、当財団が助成金を交付し、調査研究を支援するものです。  
研究課題

1. シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究
2. シミュレーション&ゲーミングによる教育用ソフトウェアの試作（教育用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓蒙活動）

分野：地球環境・政治・物理・経済・自然科学・歴史・宇宙・経営

（注）教育用ソフトウェア試作の分野については、上記の通り例示しましたが、分野を特定いたしません。どの分野からのアプローチでも結構です。

応募締切日：平成10年10月15日（木）

応募者の資格は、国内の大学・研究所等の非営利の研究機関に属する研究者で、正式部局員と致します。助成金は、1件100万円～300万円程度を基準に、総額2,000万円を交付いたします。

申請書は天文学会事務室にあります。

詳細は〒223 神奈川県横浜市港北区日吉本町1-4-24

財団法人 科学技術融合振興財団

TEL: 045-562-5432 FAX: 045-562-6132

### (財)井上科学振興財団、井上フェローの採用を希望する研究者を募集

(財)井上科学振興財団（西川哲治・理事長）は、第4回井上フェローの採用を希望する研究者を次のとおり募集（一般公募）している。

1. 募集の概要：基礎科学分野の新しい開拓的發展を目指す45歳未満の優秀な中堅研究者が、自身の研究計画の發展のため、自身が選定する若手研究者を井上フェローとして採用し、当該研究の推進に協力させるための助成である。平成5年度に開始した事業で、今回は第4回の募集。井上フェローは、全体で10名、博士号取得者（35歳未満）、フェローには月額35万円の研究奨励金を支給（必要な場合は、往復国際航空運賃も支給）。平成11年度（平成11年4月1日～）に採用。期間は2年、但し、自己の研究室出身以外から選定すること。
2. 応募資格：国公立大学の原則として大学院博士課

程の教員、並びに大学共同利用機関に所属する常勤研究者。45歳未満の者。

3. 申請受付：1998年6月1日～9月20日
4. 申請用紙請求先：(財)井上科学振興財団  
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町11-20  
TEL: 03-3477-2738 FAX: 03-3477-2747

### (財)井上科学振興財団、第15回井上研究奨励賞の受賞候補者を募集

(財)井上科学振興財団（西川哲治理事長）は、第15回（平成10年度）井上研究奨励賞の受賞候補者を次のとおり募集している。

1. 概要：平成7～9年度の過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の分野で博士の学位を取得した35歳未満の研究者で、自然科学の基礎的研究において新しい領域を開拓する可能性のある優れた論文を提出した研究者に、賞状及び研究奨励金50万円を贈呈する。
2. 受賞件数：30件
3. 募集方法：博士論文を指導した研究者の推薦に基づき、学位を授与した大学の学長からの推薦
4. 推薦締切日：平成10年9月20日（日）
5. 照会先：(財)井上科学振興財団  
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町11-20  
TEL: 03-3477-2738 FAX: 03-3477-2747

### 第15回（平成10年度）井上学術賞受賞候補者推薦要項

財団法人 井上科学振興財団

1. 候補者の対象：自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者。  
ただし、年齢が平成10年9月20日現在で50歳未満の研究者に限ります。
2. 学術賞：本賞（賞状及び金メダル）、副賞（200万円）  
授賞件数は5件以内とします。  
（注）受賞者は、原則として1件につき1人とします。  
特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示してください。ただし、この場合においても1件として取扱います。
3. 推薦依頼先：下記の30学会、並びに当財団の理事・評議員等に推薦を依頼します。
4. 推薦件数：各推薦学会または各推薦者から、原則としてそれぞれ1件とします。
5. 提出方法：所定の推薦書用紙に必要事項を記載し、当財団あてに提出願います。

6. 締切期日：平成 10 年 9 月 20 日(日)  
 7. 選考：当財団の選考委員会において選考し、理事会において決定します。  
 選考の結果は、平成 10 年 12 月中旬に推薦者に通知します。  
 ★申込み用紙は天文学会事務室にあります。  
 8. 学術賞の贈呈：平成 11 年 2 月 4 日(木)の予定  
 9. 推薦書提出先：財団法人 井上科学振興財団  
 及び連絡先：〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町 11-20  
 TEL: 03-3477-2738 FAX: 03-3477-2747

日本数学会	日本発生物学会	日本農芸化学会
日本応用数理学会	日本分子生物学会	日本生理学会
日本物理学会	日本地震学会	日本解剖学会
日本生物物理学会	地球電磁気・地球惑星圏学会	日本神経科学学会
日本天文学会	日本気象学会	日本神経化学会
日本化学会	日本海洋学会	日本生化学会
日本動物学会	応用物理学会	日本免疫学会
日本植物学会	電子情報通信学会	日本癌学会
日本細胞生物学会	日本金属学会	日本薬学会
日本遺伝学会	高分子学会	日本薬理学会

## 研究会・集会案内

### OPTICS JAPAN '98 講演募集

日本光学会は、光学と光技術に関する総合的な研究発表の場として「光学連合シンポジウム」という名称の講演会を 1992 年の京都での第 1 回から福岡での第 6 回まで毎年継続的に開催し、日本の光学分野の新しい情報の発信源としての役割を果たしてきました。そして昨年の仙台での開催から、その名称を「OPTICS JAPAN」と改めて、日本光学会の年次学術講演会としての位置づけを明確にしました。今年度は開催地を岡山に移し、光学及び光技術の更なる発展・拡大を目指し標記の学術講演会を企画しましたので、奮ってご応募下さい。今回も特別企画としての招待講演や日本光学会研究会グループによるスペシャルセッションを計画しております。

日時：1998 年 9 月 18 日(金) 9 時～5 時（講演終了後に懇親会）

9 月 19 日(土) 9 時～5 時

場所：岡山理科大学（〒700-0005 岡山市理大町 1-1）

主催：日本光学会（応用物理学会）

協賛：（依頼予定）応用物理学会光波センシング技術研究会、同新画像システム研究会、応用光学懇談会、画像電子学会、計測自動制御学会、情報処理学会、照明学会、精密工学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会、日本機械学会、日本写真学会、日本色彩学

会、日本天文学会、レーザー学会、日本分光学会、日本物理学会、日本非破壊検査協会、日本高圧学会、日本オプトメカトロニクス協会、光産業技術振興協会  
 募集内容：光学及び光技術関連分野における新しい研究で未発表のもの

応募資格：日本光学会、応用物理学会及び協賛の学協会  
 の会員

講演申込方法：「光学」4 号、5 号にとじ込みの申込書の記入事項の順にしたがい必要情報を電子メール、FAX、または郵便で（講演 1 件について 1 通ずつ）下記の申込先宛にお送り下さい。処理の都合上、できるだけ電子メールをご利用されるようお願いいたします。郵便の場合は、連絡先住所、氏名を明記した返信用ハガキを同封して下さい。

講演申込先：

E-mail: oj98subm@cas.uec.ac.jp

FAX: 0424-89-6072

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学 電子情報学科 武田研究室内  
 OPTICS JAPAN '98 事務局（担当：服部修二）

講演申込締切：1998 年 6 月 30 日(火) 正午必着

予稿集原稿：「光学」5 号に示す書式で作成して下さい。本文はワープロ等で作成し、図・表・文献を含めて A4 判 2 ページのカメラレディーの原稿を前記の講演申込先へ郵送して下さい。

予稿集原稿締切：1998 年 7 月 28 日(火) 正午必着

参加申込：「光学」7 号に綴じ込みの参加申込書に指定された必要情報を 8 月 31 日(月)までに電子メールで oj98regi@cas.uec.ac.jp 宛にお送り下さい。FAX または郵送による申込は、前記の講演申込先へお送り下さい。（参加費は当日受付でお支払い下さい）

問い合わせ先：講演申込み、プログラム関係の問い合わせは電気通信大学電子情報学科 武田光夫（実行委員長・プログラム委員長）

TEL: 0424-83-2161 内 4436 FAX: 0424-89-6072

E-mail: oj98info@cas.uec.ac.jp OPTICS JAPAN '98

ホームページ: <http://www.ous.ac.jp/DAS/phys/Oj98>

### みさと国際シンポジウム 1998

「インターネットを使った天文教育の最前線」  
 のご案内

近年、インターネットの利用によって、天文教育は大きく変わろうとしています。例えば、ハッブル宇宙望遠鏡の最新成果画像をいち早く教室から見る事ができます。また、いくつかの研究用の望遠鏡がインターネットを通して高校生たちに公開されてきています。

和歌山県美里町立みさと天文台でも、1995 年の開台以

来、コンピュータネットワークを使った天文普及活動に積極的に取り組んできました。いままでの取り組みとして、月食や日食、土星環の消失などの天文現象を、インターネット上にライブ中継を行ったり、昨年は、インターネットを使って、全国各地の中小高校生がみさと天文台の望遠鏡を遠隔操作することにも成功しました。これらの活動は国内にとどまらず、アメリカをはじめ海外の天文教育者との連携も深めてきました。このような活動の一環として、今年6月、みさと天文台のある和歌山県美里町で、インターネットを使って精力的に新しい天文教育に取り組んでいるアメリカの団体 "Hands-On Universe" の3回目の国際会議が開かれることになりました。

そこで、この "Hands-On Universe" の会合に先立ち、別紙のような国際シンポジウムを行うことにいたしました。このシンポジウムでは、世界各国で実践されている先進的な取り組みについて議論し、新たな国際協力を促進させたいと考えています。

天文教育に携わっている多くの皆さんの参加を歓迎いたします。

シンポジウムテーマ：「インターネットを使った天文教育の最前線」

開催日：1998年6月27日(土)～28日(日)

開催地：和歌山県美里町

◇参加申し込み方法

電子メール、もしくはWeb Pageの申込ページからお申し込み下さい。また、ポスター発表の申込も受けつけています。

電子メールでお申し込みの場合は、氏名、所属、住所、性別、ポスターセッションに参加していただける場合はabstractを書いて、下記の問い合わせ先電子メールアドレスへメールを送ってください。

E-mail: symp98@obs.misato.wakayama.jp

Home page: <http://www.obs.misato.wakayama.jp/symp98/>

◇参加費：1万円以下(宿泊・食費込み)。詳しくはメールでお問い合わせ下さい。

◇会場：みさと天文台を中心とした町立施設

◇主催(共催)：みさと国際シンポジウム1998実行委員会(みさと天文台と理化学研究所とITRCの共催)

◇後援：日本ハンズオンユニバース協会(JAHOU)、和歌山県美里町、和歌山県教育委員会、日本天文学会、日本地学教育学会、天文教育普及研究会ほか

◇実行委員

佐藤文隆(京都大学) 委員長

尾久土正己(みさと天文台) 副委員長 会場世話人  
 戎崎俊一(理化学研究所)、縣 秀彦(東京大学教育学部附属中・高校)、川井和彦(理化学研究所・JAHOU事務局)

◇問い合わせ先

みさと国際シンポジウム1998実行委員会

実行委員 尾久土正己(みさと天文台台長)

〒640-1366 和歌山県海草郡美里町松ヶ峯180番地

みさと天文台

TEL: 0734-98-0305 FAX: 0734-98-0306

電子メール: symp98@obs.misato.wakayama.jp

会務案内：お詫びと訂正

天文月報本年3月号の会務案内で以下のような誤りと欠落記事がありました。欠落記事は総会の案内と投票・委任状の書き方に関するもので、有効投票のためにはなくてはならないものですから、欠落が発覚後、(会員に個別に郵送している時間的余裕がありませんでしたから)、ただちに電子メール(tennet)で本記事を会員(一部)の方々に送付するとともに、主要研究機関には掲示をお願いしました。しかし、この方法では連絡が行き届かなかった方々が少なからずおられたと思います。それらの方々には深くお詫び致します。

なお、投票の案件である議案と投票用はがきは無事掲載されていましたが、投票そのものをする(賛成・反対を判断する)のに支障がなかったのは、不幸中の幸いでした。また、実際の投票でも書き方が不備のため無効になったケースは幸いごく少数でした。

以下では、誤りを正し、欠落記事を掲載するとともに、当方のミスで会員の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、再度、深くお詫び申し上げます。

柴田一成(庶務理事)

〈訂正箇所〉

3月号 p. 140 「[資料1]社団法人日本天文学会1997年度会務報告」中のイ)年会の開催の●公開講演会の部分：

誤 参加者：350名

正 参加者：250名

誤 「銀河とブラックホール」

(国立天文台助教授、中井直正)

正 「銀河モンスターにいどむー「はるか」は何を見るかー」

(国立天文台教授、井上 允)

p. 141の会員数のうちの'97.4.1現在の数を下記の様に訂正します。

正 1268 (328) 1516 46 53

p. 142 の支出の部 (下段)

誤	当期収支差額(A)-(C)	1,731,400
正	当期収支差額(A)-(C)	1,731,490

〈欠落記事〉

3月号 p. 140 「資料1」の前に以下の案内記事が欠落

正会員各位

社団法人日本天文学会 理事長 奥田治之

### 1998年度春季総会開催のお知らせ

一同封の返信用葉書で3月13日(金)までに  
到着するようご投票を！

下記の通り1998年度春季総会を開催いたしますので、  
ご出席下さるようご案内申し上げます。

総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の  
5分の1以上の出席が必要です(定款第42条)。欠席され  
る場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、  
次の(1)または(2)のどちらかの対応して下さい。い  
ずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 同封の総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて  
賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する

「葉書」は、3月13日(金)までに天文学会事務室に到  
着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る  
必要はありません。なお、最終ページの「投票および委  
任状の書き方」を参照して下さい。

#### 1998年度春季総会

日時：1998年3月17日(火)16時30分～18時

場所：東京都立大 教養部 230 教室

#### 議案の内容と説明

##### 第1号議案 1997年度会務報告

天文月報 1998年3月号 140～141ページ参照

##### 第2号議案 1997年度収支決算報告

天文月報 1998年3月号 141～143ページ参照

##### 第3号議案 新評議員の承認(定款第25条)

天文月報 1998年3月号 143ページ参照

#### 「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない会員は、綴じ込みの総会返信用  
「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任  
状を提出して下さい。(委任状はとくに指定の用紙はあ

りません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案につい  
て「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛  
成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書  
ききれないときは別紙に書いて事務室宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えませ

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票。
- 5) 2重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所(または勤務先)の両方  
を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“会長”または  
“議長”と書かれたもの。

### ●事務室だより●

#### 第23回IAU総会(京都)のアブストラクト 及び同カバン無料頒布

昨年8月に京都で開催された第23回IAU総会のア  
ブストラクト(375頁)及び布製カバン(40×30cm/手  
提げつき肩掛け両用)先着順400個限りを無料で頒布し  
ます。但し郵送の場合は以下の送料(手数料含む)をい  
ただきます。申込みは種類、個数、送付先住所・電話番  
号を記入し6月30日(火)までに学会宛お送り下さい。

カバン+アブストラクト：1,000円分切手

アブストラクトのみ：380円分切手

カバン(1個につき)：1,000円分切手

申込先 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 社団法人 日本天文学会

編集委員	末松芳法(編集長)、上野宗孝、大橋正健、小谷太郎、辻本拓司、野口邦男、平野尚美、宮坂正大
平成10年5月20日	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価 700円(本体 667円)	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
TEL: 0422-31-1359(事務室) / 0422-31-5488(月報・欧文編集) FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595	
日本天文学会のホームページ <a href="http://www.tenmon.or.jp">http://www.tenmon.or.jp</a> 月報編集 e-mail: <a href="mailto:gjjimu@tenmon.or.jp">gjjimu@tenmon.or.jp</a>	